

4. 住民ニーズ調査の分析

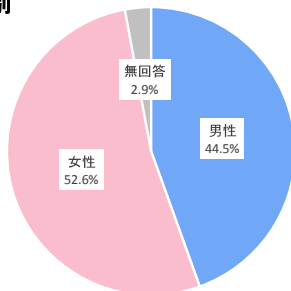
(1) 住民ニーズ調査の概要

- ◆ 出典: 総合計画策定に関する市民意識調査(平成 28 年 5 月)
- ◆ 調査対象: 市内在住(基準日:平成 28 年 2 月 1 日)の満 15 歳以上の男女 5,000 人
- ◆ 調査期間: 平成 28 年 3 月 7 日～平成 28 年 3 月 28 日
- ◆ 回収結果: 有効回収数 2,371 通 (有効回答率 47.4%)

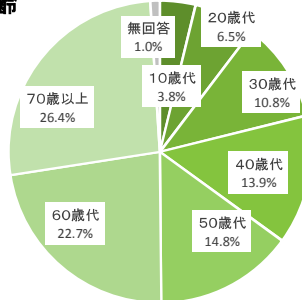
※四捨五入の関係により合計が 100 にならない場合がある

1) 回答者属性

◆性別

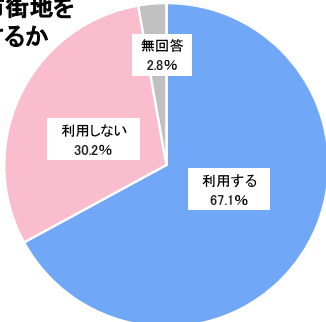


◆年齢



2) 中心市街地の利用について

◆中心市街地を利用するか

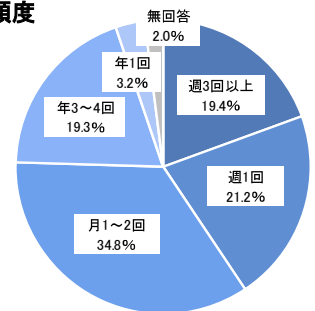


利用しない理由は
・魅力的な施設が無い
・駐車場が少ない

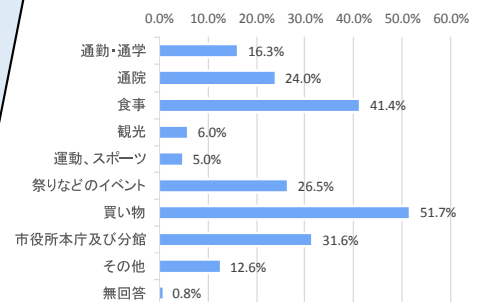
回答者の 67.1%が
「利用する」と回答

- ◆ 頻度
40.6%が週1回以上
- ◆ 目的
買い物・食事・市役所の利用が多い
- ◆ 移動手段
自家用車が 75.7%

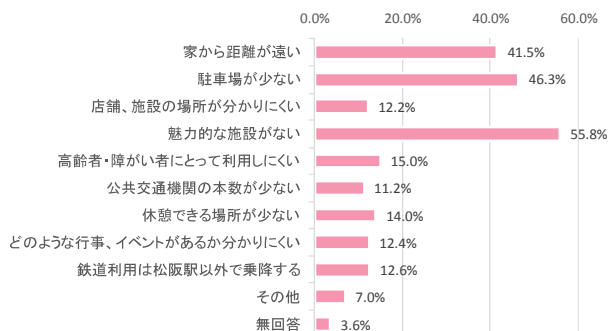
◆利用頻度



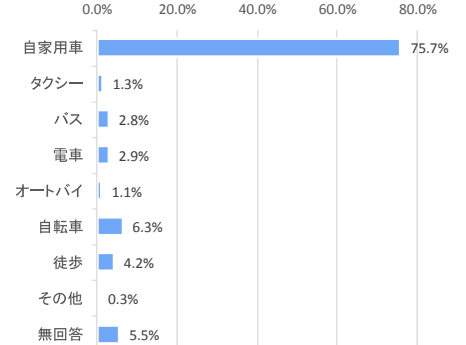
◆利用目的



◆利用しない理由

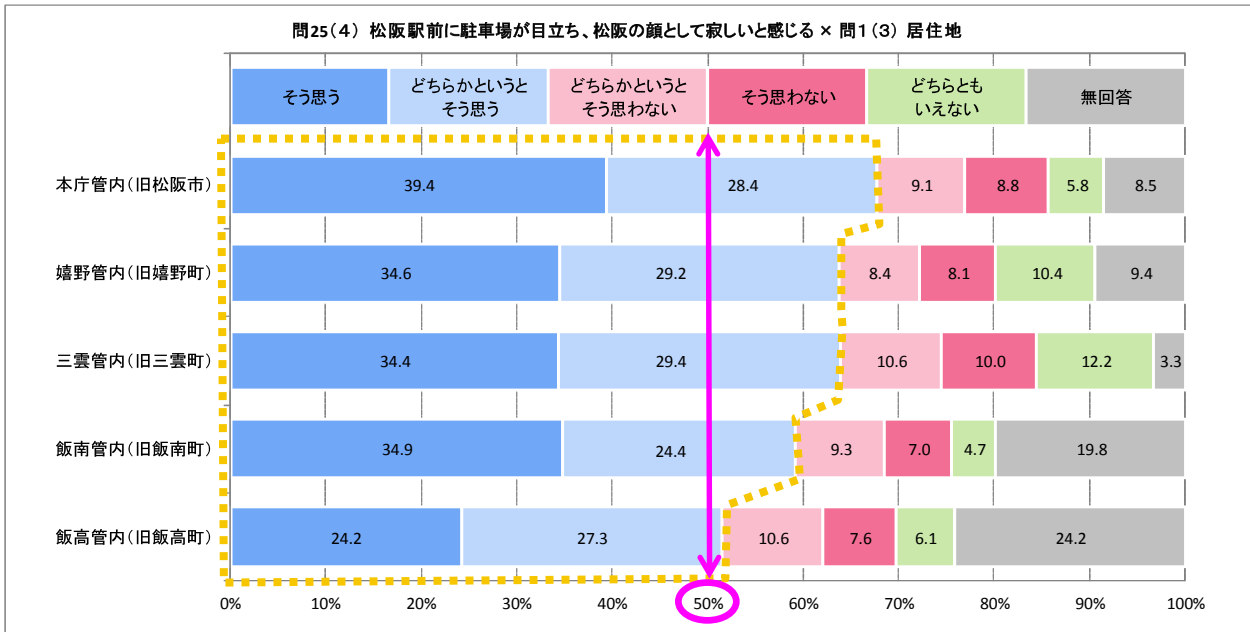


◆交通手段



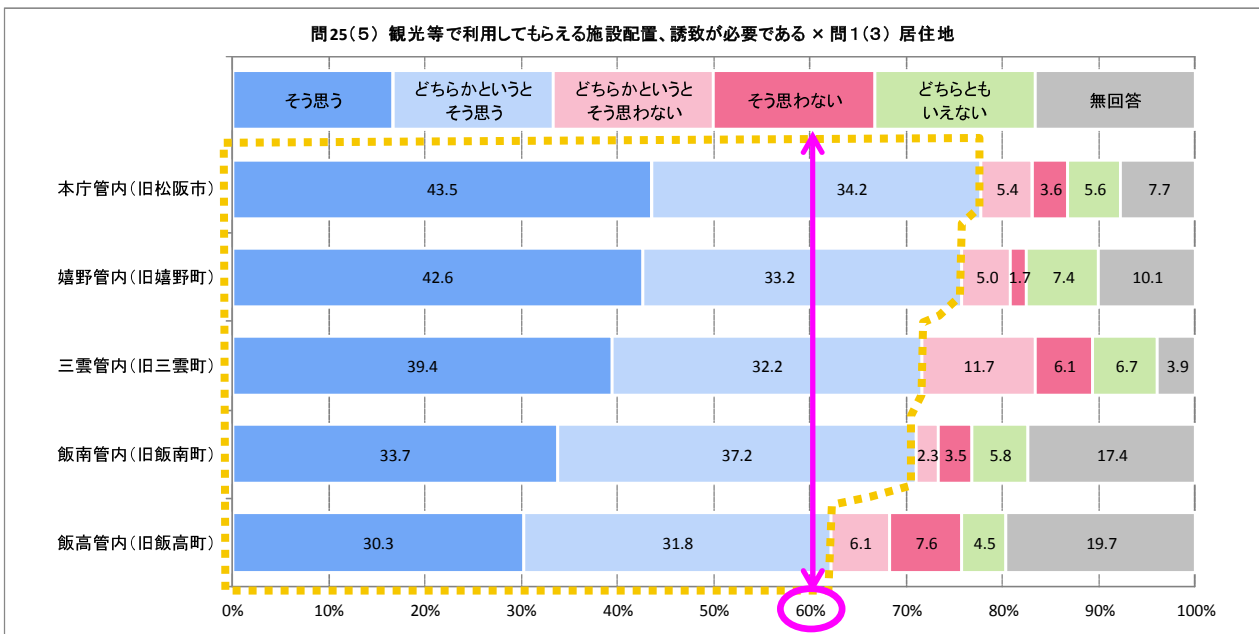
3) 問 25 (4) 松阪駅前に駐車場が目立ち、松阪の顔として寂しいと感じる

市全域において半数以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答している。



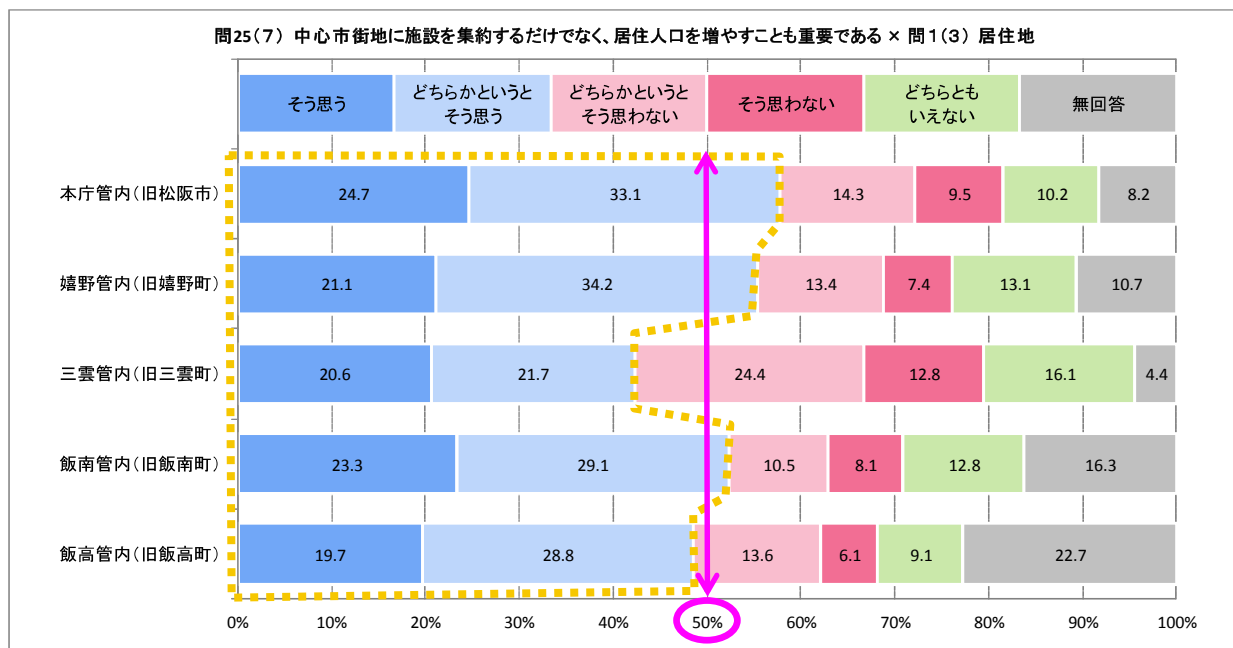
4) 問 25 (5) 観光等で利用してもらえる施設配置、誘致が必要

市全域において60%以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答している。



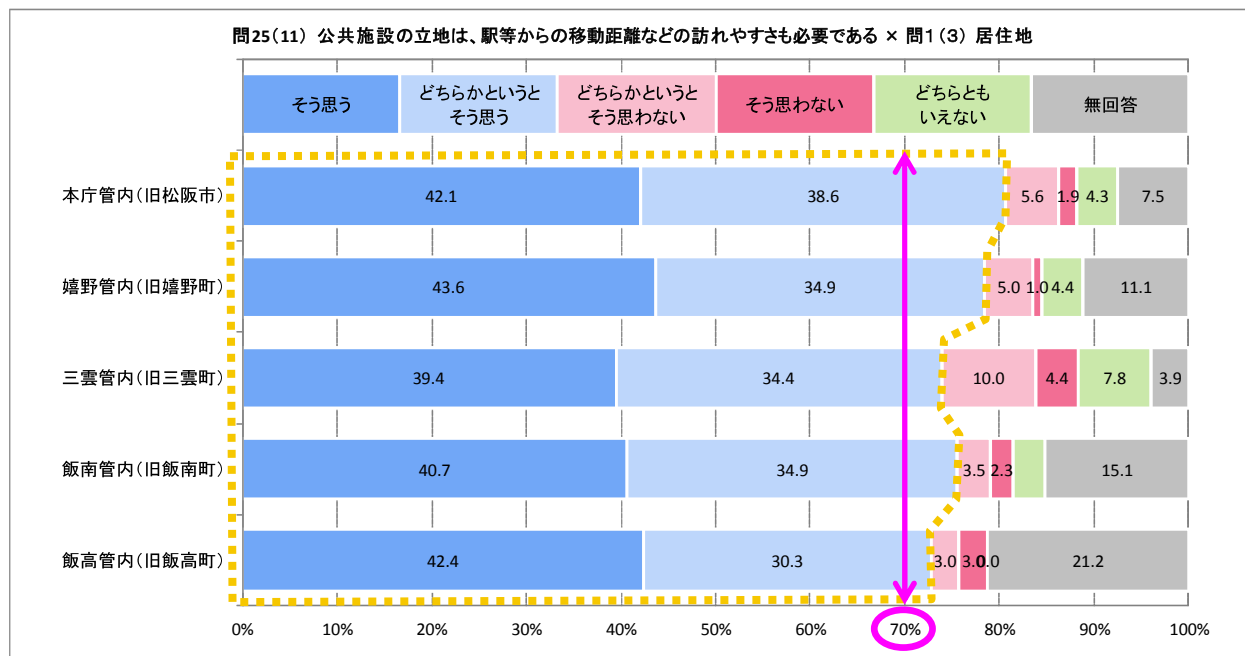
5) 問 25 (7) 中心市街地に施設を集約するだけでなく、居住人口を増やすことも重要

三雲、飯高地域以外の地域で半数以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答している。



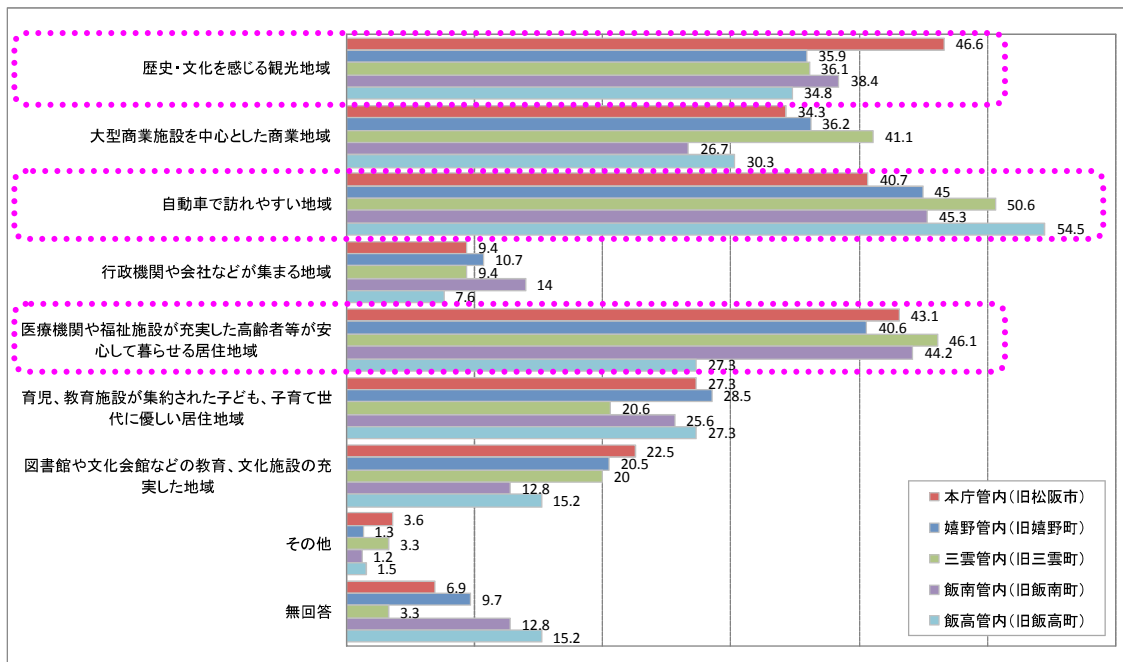
6) 問 25 (11) 公共施設の立地は、駅等からの移動距離など訪れやすさも必要

市全域において70%以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答している。



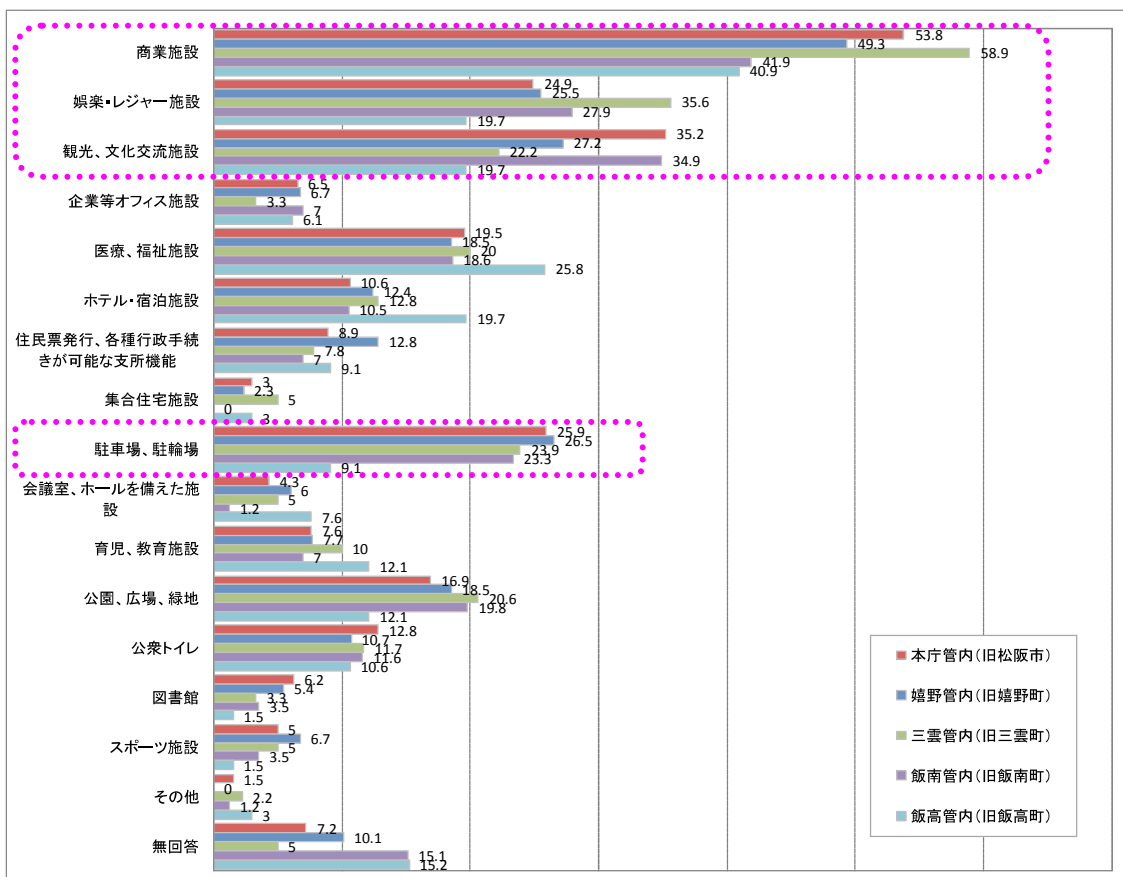
7) 問 26 20年後の中心市街地がどのような地域になったら良いか

「自動車で訪れやすい」に次いで「高齢者等が安心して暮らせる地域」「歴史・文化を感じる観光地域」が望まれている。



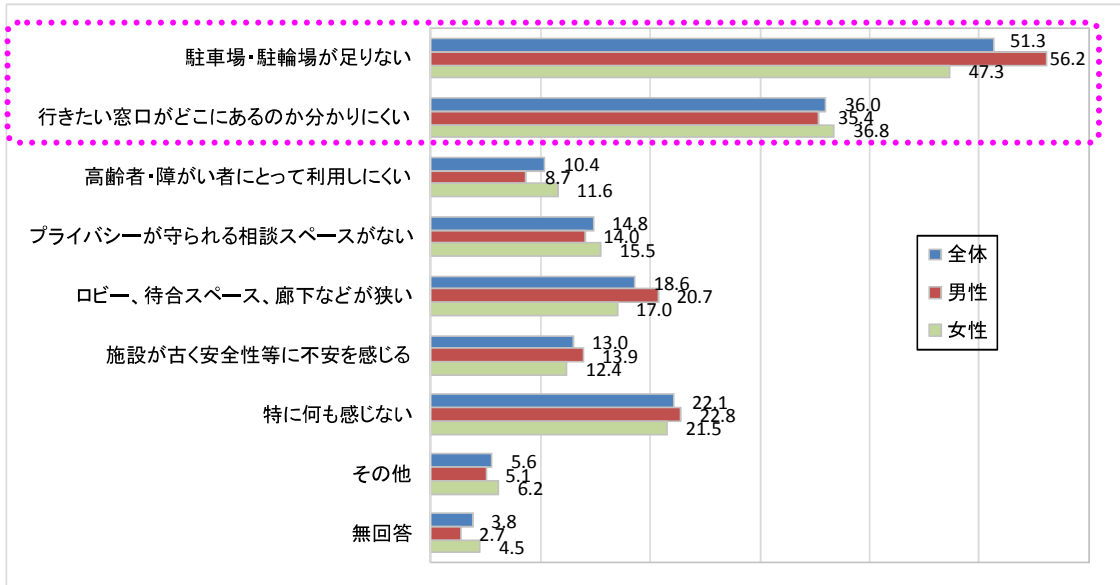
8) 問 27 中心市街地をより便利に、魅力的にしていくために必要な施設、機能

「商業施設」に次いで「観光、文化交流施設」といった市民活動の機能、「駐車場、駐輪場」が望まれている。



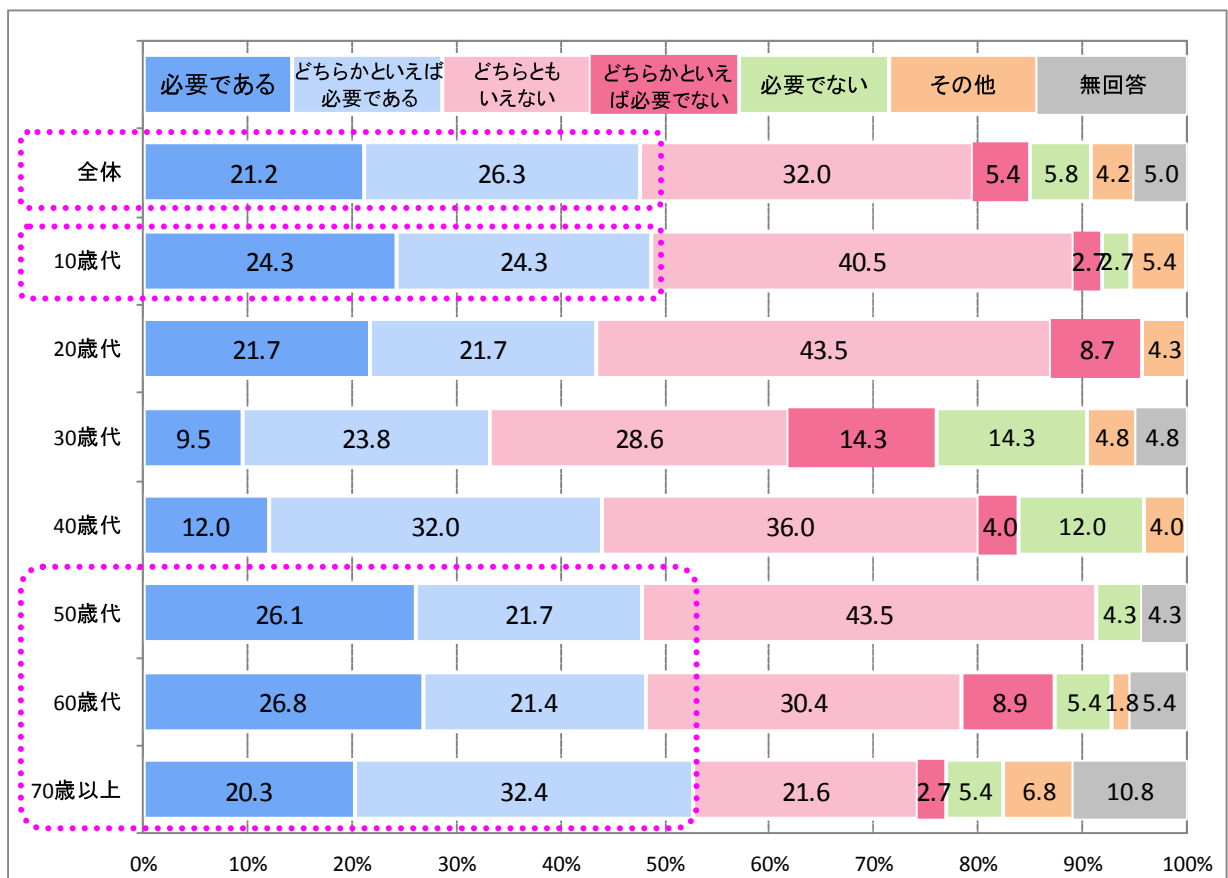
9) 問 63 市役所を訪れて不便に感じたこと

「駐車場・駐輪場が足りない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい」の割合が36.0%となっている。



10) 問 65 分庁舎の整備について

約半数(47.5%)の人が「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答しており、10歳代と50歳代以上の割合が高くなっている。



(2) 住民ニーズから見た中心市街地に望まれるまちづくり

1) 駐車場の充実と市民活動拠点などの都市機能の集積

20年後の中心市街地として「自動車で訪れやすい」「医療・福祉が充実した高齢者等が安心して暮らせる居住地域」が求められており、より拠点性を高め、魅力的にしていくためには「駐車場の充実」を前提に高齢者等の市民が住みやすい機能が求められている。

そのため、「豪商のまち松阪」の実現に向けては、商業や歴史、観光による交流機会拡大とあわせて、これらの発展と存続のための文化交流施設を活用した市民活動拠点の整備など都市機能が集積した中心市街地のまちづくりが望まれる。

2) 松阪の玄関口として集客性が高まる仕掛けづくり

「松阪駅前に駐車場が目立ち、松阪の顔として寂しい」という意見が半数以上あり、「公共施設の立地は駅等からの訪れやすさも必要」という意見は70%以上となっている。そのため、駅を拠点とした公共施設の展開とともに人を惹きつける魅力ある商業施設等による松阪市の玄関口として集客性が高く賑わいを生み出す仕掛けづくりが望まれている。

3) 観光・文化施設の配置による次世代につながるまちづくり

対象区域に今なお息づく歴史文化施設、景観の保全と活用を図りながら、松阪の歴史や文化を体感し、次世代につながるまちづくりが望まれている。そのため、観光・文化交流施設の整備とともに、地区における魅力ある建築物の保全・活用、まちなみ景観の誘導が望まれる。

4) 市民にとって使いやすい市役所づくり

現在の市役所については、「駐車場・駐輪場が足りない」「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい」という不便さの意見が多く、また、分庁舎の整備も望まれている。そのため、市民にとって使いやすい市役所づくりに向けて、駐車場・駐輪場の整備と総合窓口（ワンストップ窓口）等を設置していくことが望まれている。

5) 地域特性を踏まえた商業機能への波及

松阪における中心拠点として、便利で魅力的にすべく「商業施設（既存商店街の再生や商業店舗の出店など）」が求められている。そのため、対象区域はこれまで既存の商店街と歴史文化施設が共存・調和した街が形成されてきていることから、公共公益施設や歴史文化施設と一体となった回遊性のある魅力的なまちづくりによる商業機能への波及効果が望まれる。